



シンボルマーク

シルバーおやべ

第 55 号

令和 6 年 1 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67-4804
FAX (0766) 67-5515
<https://oyabe-sjc.jp/>



出羽三山神社三神合祭殿前にて

書「延寿万歳」松沢地区 五郎丸 尚三



令和5年度 安全就業スローガン

時間の余裕は心のゆとり

早め早めで安全就業

若林地区 岡田 好子

シルバー人材センター理念

シルバー人材センターは、

《自主・自立、共働・共助》

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。

会員数 340名 (男性216名・女性124名) 令和5年12月31日現在



「喜び」を分かち合う

楽しいシルバ－の輪を

より広げていきましよう

理事長 野澤敏夫

新年あけましておめでとうございます。

昇り龍の如き飛躍の思いを胸に、会員の皆様には、今年の初春を健やかに迎えにいられたものと心からお慶び申し上げます。また、日頃より当センターに仕事を発注いただいた皆様方には、晴れやかな新春とともに益々のご隆盛をご祈念申し上げます次第です。

昨年は、豪雨や酷暑など近年にない気象の変化に見舞われましたが、珍しく小春日和が続いた先月、家の近くの道端にサフランの可憐な花が咲き揃っているのを見かけました。ミツバチが楽しそうに羽を震わせながら蜜を吸いに来ており、自然の営みの優しさを思い返しました。サフランの花言葉は「喜び」だそうです。

コロナによって一変した日常が、ようやく元に戻りつつあるとは言え、かつての絆が弱まり、伝統行事や団体活動が復活できていないという話をよく聞きます。人の喜びは、自分だけで感じるより、家族や仲間と分かち合うことで、より大きなものになるものと思います。

おかげさまで、一昨年から始まった「シルバ－ふれあい市」は、順調に来場者が増えるなど、まさに会員相互のふれあいの場として、大きな役割を果たしつつあります。また、会員互助会による親睦旅行も定員いっぱい多くの参加者で楽しく賑やかに行われました。

シルバ－人材センターを抛り所とし、仕事ができる喜びに加え、仲間と共に苦労話や嬉しかったこと、また時には冗談等を語り合うことで生まれる喜びは、かけがえのないもののように思います。

一方、今秋からは新たに「フリーランス法」がシルバ－人材センターの活動にも適用されるなどめまぐるしく変化する社会状況の中、どのようにしてシルバ－人材センターの魅力をより高め、仲間を増やしていくかが大きな課題となっております。

今、当センターでは、皆さんからいただいたアンケートの結果を踏まえ、令和6年度から10年度までの5ヶ年間を見通す「中長期計画」の見直しに取り組んでおり、目標や具体的な実施計画の策定を進めています。

天翔ける龍の背に乗るが如く、小矢部市シルバ－人材センターが更に発展し、「喜び」を分かち合う楽しいシルバ－人材センターの輪がより広がっていくよう、皆さんで共に力を合わせていきましよう。本年もよろしくお願いたします。



サフランの花とミツバチ

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます

理事長	野澤敏夫
副理事長	中村利夫
専務理事	坂田力
理事	野沢弘一
	山口善嗣
	谷博道
	山元一豊
	山田操
	長井忠昭
	吉田外茂治
	高内広
	山作芳美
	高瀬恵美子
	宮島幸栄
	大沼昌代
	高西久文
監事	



ごあいさつ

小矢部市長 桜井森夫

明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかに令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、市政発展に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、市内施設での清掃や除草、管理業務等において行政サービスの一翼を担っていただいておりますことにも深く感謝申し上げます。

貴センターにおかれましては、「高齢者の生活の充実」と「地域社会への貢献」を目的に、就業機会の提供を通じて、生きがいの充実や健康増進、地域社会の維持において多大なるご貢献をいただいているところです。社会情勢の変化から住民のニーズも多様化する中、「空き家サポートサービス」や「シルバーくらし救援隊」などの時代に即した活動も展開しておられ、今後も市民生活を向上させる、利便性の高い取り組みに期待しております。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、本市においても祭りやイベントなどがコロナ禍前の状態に戻りつつあります。「石動曳山祭」、「おやべの獅子舞祭」、そして、「津沢夜

高あんどん祭」の「小矢部三大祭」が、昨年久しぶりに通常開催されたことは喜ばしく、市民として誇りを実感するものでした。引き続き感染への注意は必要ですが、あらゆる場面で日常と賑わいを取り戻すことができるよう歩みを進めてまいります。

そして、本年は「第7次小矢部市総合計画」の折り返しの年であり、掲げる将来像「魅力・安心・充実しあわせおやべ」の実現に向けて、後期のスタートとなる令和6年度から5年間の実施計画を現在策定しております。市民の誰もが心身ともに健康に、ともに支えあう温かな福祉環境の中で暮らすことができるまちづくりを目指してまいりますので、どうぞ今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

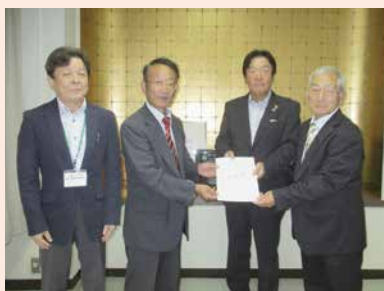
結びに、貴センターの更なる飛躍と、会員の皆様のみましますの健康とご多幸を祈念いたします。まして、新年のごあいさつといたします。



小矢部市への支援要請について

令和5年9月26日に桜井森夫市長、山室秀隆市議会議長、加藤幸雄市議会副議長に対し、当センター野澤理事長、中村副理事長、坂田事務局長が令和6年度の運営・事業費補助金、令和5年10月から始まるインボイス制度への対応等について要望を行いました。

また、小矢部市企業協会の前田智嗣会長に対し、シルバー事業の活用等について要望を行いました。



市長への要望



議長への要望



今年度のこれまでの活動を報告します。

会員増強・就業拡大委員会

[実施事項・検討事項]

- 毎月第2、第4月曜日「お仕事説明会」を開催
- 毎月第3水曜日ハローワークおやべにて「出張説明会」を開催
- ポイント表彰制度や会員紹介カードの活用による会員紹介の促進
- 女性会員の交流を目的とした講習会の開催
 - 6月 笹寿司づくり教室 講師：田悟敏子さん（田悟農産）
 - 11月 かぶらずしづくり教室 講師：田悟敏子さん（田悟農産）
 - 12月 フラワーアレンジメント教室 講師：田中みさとさん（田中園芸）
- 市長寿会連合会との意見交換会（8月31日）
- 企業協会への要望



笹寿司づくり教室

広報・イメージアップ委員会

[実施事項・検討事項]

- 「シルバーおやべ」第54号（8月）、第55号（本号）の発行
- お仕事説明会チラシの発行
- 会員紹介カードの作成
- 会員加入促進用チラシ・発注者向けチラシの作成
- 市長寿会連合会との意見交換会（8月31日）
- HPの見直し、その他センターのイメージアップにつながる事業実施



おやべ元気フェスティバル2023

地区連絡委員会

- 定時総会の運営協力（5月26日）
- シルバーの日ボランティア活動の活動協力（10月11日）
- 地区交流会（2月）の企画運営

令和5年度地区交流会の予定

開催日時	地区	場所
2月1日(木) 10:00	南谷1・2・3、子撫、宮島	南谷公民館
2月8日(木) 9:30	松沢1・2、若林1・2、荒川1・2、正得	市民交流プラザ 202、203会議室
2月8日(木) 10:00	北蟹谷、東蟹谷、藪波1、藪波2	東蟹谷公民館
2月22日(木) 10:00	津沢1・2、水島	津沢コミュニティプラザ
2月29日(木) 14:00	石動西部、中部、南部、北部、東部、埴生1・2	市民交流プラザ 202、203会議室

安全管理委員会

- 事故件数は昨年と比べて減少していますが、まだ例年並みの多さです。今後とも「事故ゼロ」を目指して安全対策を進めていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。
- 事故発生状況を見ると転倒による骨折事故が2年連続で発生していますが、滑りやすい時期になりますので、歩行や作業には十分注意願います。



安全パトロール

事故発生状況 (令和5年4月~12月)

切傷 (機械刈) 1件	転倒による骨折 (受付) 1件	設備破損 (施設管理、清掃) 2件	飛石 (機械刈) 1件
-------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------

シルバーの日

令和5年10月11日



クロスランドおやべにおいて、小矢部自動車学校校長 奥田吉広氏を迎え、歩行者や自転車利用者も含めた交通事故防止について説明がありました。

交通安全講習会終了後には、約70名の参加者がクロスランドおやべパターゴルフ場や総合保健福祉センター、農村環境改善センター周辺の清掃活動を行いました。



会員のつどい



ボランティア活動終了後、会員互助会から弁当とお茶が配布されました。

例年、会員同士の交流の場となっていましたが、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会食は中止となりました。

～ K N B ラジオ番組『でるラジ』に出演しました ～

令和5年8月9日、K N B ラジオ「でるラジ～輝け！シルバー世代～」のコーナーで当センターが中継先として放送されました。「でるラジ～輝け！シルバー世代～」は、毎月第3水曜日14時30分頃からK N B ラジオで放送されています。

当日はK N B の柳川明子アナウンサーから当センター障子班の会員が取材を受け、各々の入会動機、仕事（障子はり）でのエピソード、互助会活動などの仕事以外の楽しみのことなど、当センターの概要やシルバー人材センター事業について話しました。



取材を受ける障子班の会員



左から柳川アナ、名越会員、山田会員、池田会員

会員寄稿

我が家のトイレに相田みつをの日めくりカレンダー「にんげんだもの」が吊ってある。20数年前に娘がお土産にくれたものだが、以来ずっと毎日欠かさずくっている。毎日そのうんちくある言葉、書体に心が和み、また励まされている。

1日目の「今からここから」では…よし今月も頑張ろうと思い、2日目「つまづいたって いいじゃないか 人間だもの」には…そうか、くよくよしないで明るくいけばいいのだ、などと励まされている。

表紙含め33枚の書が載っているがどれも心に刺さるものばかりだ。

9日目には「やれなかった やらなかった どっちかな」…グサリ心を突かれる。

特に私が好きなのが12日目の「名もない草も実を つけるいのちいっぱい の花を咲かせて」だ…そう私の家族、子や孫ばかりではなく、世の中の人みんな花や実をつけようと精一杯生きているんだと改めて思う。

今なお世界各地で紛争が起こり殺し合っているが、30日目の「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる うばい合えば憎しみ わけ合えば安らぎ」とある。みんながこのような思いを持って世の中うまくいけないものだろうか。

31日目「おかげさん」と締めくくられている。…ほんと私ももう後期高齢者、ここまで生きてこれ、月末だけではなく毎日が「おかげさま、ありがとう」だ。

もう一つ、シルバーの会員で仕事をさせてもらっている身としては、18日目に「かねが人生のすべてではないが有れば便利 無いと 不便です 便利のほうがいいなあ」とある。シルバーで働き、生きがいを得る他に、若干の配分金を頂けるのは…いいなあ。

「しあわせはいつも 自分のところがきめる」と6日目にあるが…そう、自分は今幸せだなあと思っている。

薮波地区 H・T

今年「年男・年女」を迎えられた 会員の皆様にお聞きしました!!



- ① シルバーに入会された動機 ② 「年男・年女」として今年一年の抱負
 ③ 日頃、健康管理に気を付けていることは ④好きな食べ物は何か ⑤ 趣味は何ですか

聞き取り・とりまとめ 埴生地区 津田 正治

南谷地区 前 清一

- ①庭の手入れが好きで入会しました。
- ②体に気を付けて仕事に励みます。
- ③腹八分で寝ることです。
- ④好き嫌いはなく、何でも食べます。
- ⑤畑仕事です。

南谷地区 林 清則

- ①常々「地元で何かお手伝いの仕事をしたい」と思っていたことと「新しい経験」をしたかった。
- ②八十路に入り、以前ほど体力は持たないが「入会動機」の思いが変わらず、身についた経験を生かして「100までやるぞー!」
- ③「100までやるぞー!」を「心に掲げ」我が身の「60兆の細胞たち」の働きに感謝し「未病に励む」に尽きる
- ④最近「好き嫌い」がはっきりしないので、色々な物を少しずつ並べて「楽しんでゆっくり」食べること。
- ⑤やりたいことが全て趣味

松沢地区 寺田 孝則

- ①就業 生きがいの発見
- ②「年男」とは関係なく例年通り、「体力維持」「ボケ防止」対策に努める。
- ③昨年は自分自身の不注意で夏バテとなり、体力が大きく落ちた。本年は体力維持を目標に「散歩」「ジム通い」等を継続していきたい。
- ④焼き肉
- ⑤山歩き

西部地区 近藤 千賀子

- ①少しでも動けることができれば、自分が一番幸福なことだと思って入会させていただきました。
- ②家族に迷惑をかけないように、常日頃心掛けていきたいです。
- ③食事は3食取ることと早寝、早起きすることをなるべく心掛けています。
- ④野菜と魚です。
- ⑤読書



東蟹谷地区 深田 謙治

- ①長年、勤めていた会社を退職し、何かまだ出来ること(社会勉強、健康維持)がないか探していた処、勤めて頂いた方の紹介で入会しました。
- ②まず第一に健康(家族)
- ③食事は規則正しく、定期的に健康診断へ行く。
- ④ラーメン 寿司
- ⑤海釣り 木工作业(小物)

菟波地区 山田 清一

- ①会社を退職した後、なんとなく入会した。
- ②いろいろ意味でいい年にしたい。
- ③2ヶ月に一度病院に通院し定期的に検査すること。
- ④主に魚
- ⑤特になし

東蟹谷地区 名越 正行

- ①剪定に興味があったので入会した。
- ②シルバーの仕事をして旅行に行くこと。
- ③食べて、寝て身体を動かすこと。
- ④甘いものケーキなど
- ⑤卓球

津沢地区 和世 千秋

- ①前の仕事を辞め、もう少し働きたいと思ったから
- ②健康で元気に動けることに感謝して、一年を大切に過ごしてできれば、次年につなげたい。
- ③よく食べ、よく眠り、くよくよせず明るく過ごせるように心掛ける。
- ④味噌汁
- ⑤オカリナ

津沢地区 津島 正枝

- ①主人につられて入会した。
- ②健康で過ごすこと。
- ③黒ニンニクを食して免疫力を高める。
- ④好き嫌いなく全て
- ⑤草むしり

水島地区 長谷川 睦子

- ①社会の一員としてまだ活動したいから
- ②花壇づくりを続けたい! 柔軟体操、食事、健康でいられる事が第一!
- ③食事(不規則)になりがち、野菜の後に肉、魚、最後にご飯です。
- ④好き嫌い無いです。
- ⑤これから探して行きます。

菟波地区 伊藤 ひとみ

- ①社会参加
- ②人生に一度でいいから、今年こそ宝くじ高額当選してみたい!!
- ③朝の味噌汁
- ④炊き立ての白いご飯
- ⑤ふらっと富山・石川県内の気晴らしドライブ

松沢地区 中居 久雄

- ①当センターの紹介される仕事ならば、安心で信頼できると思い入会しました。(かつて人材派遣の仕事に数年携わったことがあります。)
- ②自分も含め家族全員が健康に過ごせることを願っています。
- ③毎日、目標歩数を決めて歩いています。
- ④好き嫌いはありません。何でも食べます。
- ⑤読書(小説)

芹川地区 山田 光男

- ①新聞に入ってきたシルバー会員募集のチラシを見て、自分にもやれそうな仕事があるかと思い入会した。
- ②元気で長生きできるように、病気にならないようにして毎日過ごしていきたい。
- ③よく寝ること
- ④何でも食べますが、特に刺身
- ⑤相撲観戦

正得地区 宮西 勝昇

- ①定年退職したのち、営農組合以外に何かすべきだと考えた。
- ②夫婦揃って健康であること。
- ③間食を摂り過ぎず、毎日のスクワットは忘れずにする。
- ④好き嫌いはありません。何でも食べます。
- ⑤落語

荒川地区 西村 悦子

- ①生きがい、社会との接点を求めて
- ②健康で毎日を過ごすこと
- ③睡眠、毎年検診を受けること
- ④魚、野菜、和菓子
- ⑤手芸、読書

東部地区 渡辺 美津夫

- ①時間に余裕があり社会参加したいから入会した。
- ②家族が健康で過ごせること
- ③なるべく身体を動かすこと
- ④ラーメン
- ⑤囲碁、電子ピアノ(キーボード)

宮島地区 中山 和代

- ①広告を見て身体を動かしたかったため
- ②何事もなく元気に過ごしたい
- ③身体を動かし、よく食べ、よく寝ること
- ④寿司、柿
- ⑤裁縫、脳活パズル、片付け

子撫地区 山川 一夫

- ①知人の紹介
- ②健康で毎日を楽しく過ごせればよし
- ③好きな物を食べ病気やケガ等しないよう日々健やかに送る
- ④麺類
- ⑤ドライブ、家庭菜園、園芸

子撫地区 山作 芳美

- ①縄文パークがシルバーに入ったので自然に会員になった。
- ②継続は力なり、どんなことでも諦めずにやっているとためになっ
- ③よく寝ること
- ④みかん
- ⑤散歩

東部地区 片岡 悦子

- ①空き時間を有効活用したいと思った。
- ②何事にも関心を持ち挑戦する。新たに友達づくりをしていく。
- ③1日30分程度のウォーキングをしている。
- ④フルーツ、寿司
- ⑤書道、太極拳

ちよっとひと息コーナー

就業先訪問

「小矢部ふるさと歴史館」

就業会員 松永 良成

「小矢部ふるさと歴史館」は市内植生にあり、平成8年に竣工した施設です。

この歴史館には、桜町遺跡など小矢部市内の遺跡から出土した貴重な文化財(考古資料)が展示されています。

本施設では4名のシルバー会員が現在就業しており、月曜の休館日及び冬期間を除き、シフトを組んで開館・閉館作業や来館者の受付そして館内の展示品の案内説明などを行っております。

来館者は、市内をはじめとして県内・県外から見られます。また、市内小学校など、団体見学の際には市教育委員会(担当:文化スポーツ課)に説明の応援を頂いております。



来館者の中には知識が豊富で専門的な質問をされる方もいらっしゃいますので、地域文化や文化財に対する知識を磨きながら働いております。全国的に珍しい展示品もありますので、皆様のご来館をお待ちしております。

互助会だより

羽黒山昇殿参拝と庄内周遊 湯野浜温泉の旅

松沢地区 砂田 茂

私にとつて東北方面は出張で行くことはあつてもそこを旅行目的として出かけたことのない土地であり、70歳を過ぎた今、一度は訪れてみたいと思つていた場所であつた。

今年度のシルバーの会員親睦旅行は10月26日からの1泊2日の念願の土地を訪れる素晴らしい企画の旅を提供され、いつにも増して期待感高まる素晴らしい親睦会ということで迷わずすぐに参加申込をした。

当日7時半の定刻より早めに小矢部を出発し、高速道路の工事等による渋滞もバスガイドさんの心をそらされることのない素晴らしい案内では計画通りの時間で旅程を消化しながら新潟方面に向かつて。最初の目的地の村上につくまでの数時間もバスの中でそれほど時間のたつのが苦にならず楽しく時間を過ごすことができた。

村上に着いてからは昼食を済ませて鶴岡までの間、若林家・おしゃぎり会館の見学を皮切りに笹川の流れを眺めつつバスを進め、念珠の松庭園を見学した。

そして出発日の最後の見学地向かう途中で雨に遭い、目的地であつた善寶寺見学を翌日に延ばして宿泊ホテルへ向かつた。宿は皇室が利用されるだけあつて料理も風呂も素晴らしい施設のホテルであり堪能できた。

翌日、昨夜の宴会の余韻を抱きつつ前日見学する予定であつた善寶寺を参拝し、羽黒山へと向かつた。羽黒山では山伏の案内で本殿に案内され、本殿では予想に反して正式に拝礼させてもらった。それから鶴岡のドライブインに進み、昼食そして最後の買物と時間を過ごし帰途についた。

今年の親睦会は東北出羽三山の拝礼など歴史好きの方にはこの上ない思い出に残る企画であつたと思う。

残念ながら私は歴史に弱くその方面の感想を述べる事ができないが、そんな私でも十分に楽しさの感じられる旅行であつた。今年も又素晴らしい旅行が企画されると思う。

健康に留意し、会員の皆様と今年も参加できることを念じて過し過ぎていきたい。



シルバーウォーキング 10月14日(土)

シルバーウォーキングに参加して

子撫地区 山田 操

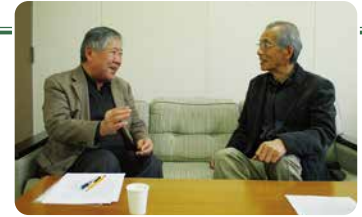
当日の集合場所が倶利伽羅山頂展望台付近となつていたので、山頂から谷へ降りて地獄谷巡りかな?と想像をめぐらせていきました。思いとは異なり、猿ヶ馬場の急斜面(義仲の進軍路)を下り、源氏の陣跡をみて、毘沙門天像を仰ぎ、植生大池迄歩き、折り返して戻る行程でした。(往復約3.5km)

途中、栗のイガが敷き詰められたように沢山落ちていましたが、中はすべて空でした。猪か熊の仕業でしょうか?

今回、普段の山歩きとは逆で(下って上る)ため、先に急斜面をおりすることはすごく神経を使いました。(転ばないように、またヒザの負担大で)登りはゆっくり体力を使うので、もう着いた!と余力が残っていてさわやかに終えました。途中メルヘンガイドでシルバーの会員でもある橋本さんの説明を聞き、いにしへの面影を想像しながらの山歩きでした。



あの頃、あの時コーナー



—— 会員増強・就業拡大委員会委員長 長井忠昭さん、広報・イメージアップ委員会委員長 谷博道さんが昭和50年代の初め頃にかけて小矢部市連合青年団において活躍されていたとのことで、その頃の思い出を語って頂きました。

長井：小矢部市連合青年団（以下「連青」という。）は、昭和37年小矢部市が発足したのちに各地区青年団の上部組織として生まれたものです。その連青ですが、私が第13代団長、谷さんが14代団長、因みに現在市議会議長の山室秀隆さんが15代団長として活動しました。

谷：当時それこそ若き血潮をたぎらせ、今から思うと信じられないくらいの熱気で活動しました。青年のバス、青年議会、若人の祭典、大運動会、ダンスパーティー・・・各地区団長や理事が集まり、議論しながら、事業を遂行しました。当然みんな仕事があり、仕事を終えてからの夜の活動となります。

長井：各地域青年団の上部組織ですが、それぞれ政治の話から、友情、恋バナまで・・・いろいろ議論したものです。

谷：富山県の青年の船の市内版として毎年青年のバス事業を実施、わたしの団長時は淡路島の研修宿泊施設まで行く研修旅行を実施しました。現地で、富山県の西の玄関口小矢部市から参りましたと自団体を紹介しアピールしたものです。

長井：若者が政治に関心を持つと、小矢部市の市議会議員選挙時、立候補者にアンケートを実施し公表したりしました。今で言う選挙公報の先駆けのような事も実施しました。

谷：そのような市政を学ぶと言うことでは、市議会を模した青年議会を組織し、当時の市議会定数と同様に24人で構成を行い、各委員会分かれて役所の方々から市政を学び、質問もし、最後の本会議は、市の議場を使って市への要望も含め発表したものです。私が特別記憶に残るのは、私が青年議会議長を務めた年に小矢部市の汚職疑惑の裁判があり、青年議会としてどう取り扱うか迷ったものです。侃々諤々議論しました。当時連青役員だった長井さんたちも大変だったと思います。

長井：連青としても市長を囲み市政対話集会を開催し、青年の政治意識を高めました。

谷：いろいろな活動もしましたが、でも一番の収穫は友情、生涯にわたる友人が出来たことでしょうか。

長井：「今の若い人たちは」などとはあまり言いたくありませんが、当時の私たち若者は、いろいろな面で活気あふれ、頑張っていたと確信できます。

—— お二人には、まだまだ語り尽くせないと思いますが、ありがとうございました。

小矢部市 長寿会連合会より

高齢者の生きがい活動として各種事業を行っています。ほとんどの方が長寿会会員だと思しますので各種行事に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

行事 案内

・地区交流会

【とき】 2月中に開催予定
※詳細はP 4 委員会だより参照

・安全就業講習会

【とき】 3月8日（金）午後2時から
【場所】 クロスランドおやべセレナホール

※詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合があります。

あとがき

皆様、あけましておめでと
うございます。

地球上のあちらこちらで、
戦争が起き、幼い子供や力のな
いものが犠牲になっている状況
が今年はなくならないのを祈りつ
つ、皆さんには平和な令和6年
を迎えられたことと思います。

「シルバーおやべ50号」から
編集を広報委員会から広報・イ
メージアップ委員会に代わりま
したが、紙面は見やすくなっ
ていますか？どのような誌面にし
たらよいか谷委員長を中心に委
員6名で知恵を絞り、事務局の
助言も参考に編集しています。

また、シルバー人材セン
ターで働ける幸せを感じつつ、
健康で楽しい人生を送りたいと
願っています。当センターでは
旅行、そば打ち、会員の集い、
ウォーキングそして、5月～11
月の間に月一回はシルバーふれ
あい市「よつてかれ」を開催し
ています。今年はシルバー人材
センターの会員間での交流が
もっと活発になるのを祈って
います。

紙面をもっとよくしたいの
で、皆さんの投稿・助言を待っ
ています。

広報・イメージアップ委員会
委員 橋本 政子